教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のＷｉｎ－Ｗｉｎの関係」の構築

東浦町ＳＰ通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第 28 号
2021 年 10 月 22 日
編集　緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

「2021 夏のわくわく算数・数学教室」を振り返って

今年もコロナ禍の中、片葩小学校・東浦中学校の「夏のわくわく算数・数学教室」が開催されました・参加をしてくれたＳＰのみなさん、本当にありがとうございました。児童・生徒の感想やＳＰのみなさんの活動記録を読ませていただき、今年の活動もとても充実した、素晴らしいものだったと改めて感じました。少し遅くなってしまいましたが、今後の活動の励みやヒントにしてもらえたらと思い、その一部を掲載します。ぜひ、読んでみてください。

子どもたちの感想

＜1年生＞
●いろんな勉強をして楽しかったです。いつもむずかしいと思っていた問題が、楽しく思いました。
●今日でわくわく算数教室が最後で悲しいけど、行けたら2年生になってもまた行きたいです。お姉さん先生・お兄さん先生は、わくわく算数教室に来たら毎日違う人だけど、楽しかったです。

＜2年生＞
●筆算や迷路が出来て楽しかったです。一番難しかったのは100の筆算です。でもお姉さん先生が分かりやすく教えてくれて、難しい問題も解けました。
●今日のわくわく算数教室は、久しぶりにお姉さん先生なので緊張しました。でも、S 先生がたくさん話しかけてくれたりしてくれたから、とても嬉しかったです。今年のわくわく算数教室は、まだ行きます。(来年も。)なので、ぜひお姉さん先生の時は、元気で優しい S 先生が良いと思いました。

＜3年生＞
●難しかったのは、長さの巻尺です。先生のおかげで意味がわかってとても簡単になりました。嬉しかったです。
●習っていないところを教えてもらって、いろんなところを覚えられて、嬉しかった。それに、1回しか行けなかったけど、楽しかったです。

＜4年生＞

●算数の知らなかった問題の解き方も教えてもらったり、大学生の先生ともいっぱいお話ししたり、楽しかったです。夏休み中にはあと3回行くので、今日よりもいっぱい問題を解きたいです。

●今日は、苦手な「大きい数」をやって、難しかったけど、分かりやすく教えてくれて復習にもなったので嬉しかったです。あと、先生が面白かったので、楽しく復習できたのでよかったです。あと、算数は苦手な教科で、嫌だったけど、少し楽しくなりました。あと一回行くので、楽しみになりました。

＜5年生＞

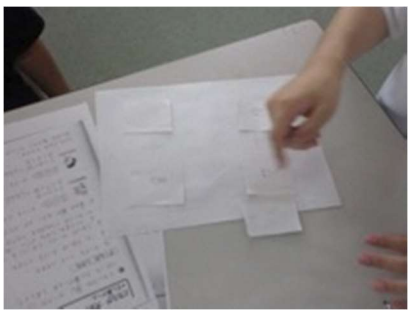
●今日は、前やったところより難しい問題にチャレンジしました。どれも少し手こずってしまいました。今日やったことはこれからのことに絶対に役に立つと思います！わく算、参加して良かった！！

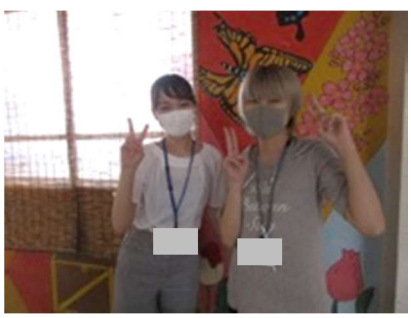
●先生が優しく教えてくれて、分かりやすかった。来年もわくわく算数教室に来たいです。算数は苦手だけど、とっても楽しかったです。

＜6年生＞

●今日、プリントを11枚書きました。I 先生も優しく対応してくれて、とても楽しかったです。ここに長く通っているが、あと1年もすればもう来る事が出来なくなると思うと、少し悲しくなってきます。ここに通っていたことは、一生の思い出になる事間違いなしです。一生忘れません！

●お姉さん先生がとても優しく教えてくれたので、とても楽しかったです。点対称な図形や分数の筆算をやった時、分からなかった問題を、分かりやすく笑顔で教えてくれました。とても楽しかったので、冬休みもまたあったら行きたいです。





＜中学生＞

●今日は、問題をたくさんやりました。最初は、何をやろうか迷っていたけど問題にしました。たくさんあって、やっていたら、何回もお姉さんが「大丈夫？」「いつでも聞いてね」とか言ってくれたのでとても嬉しかったです。おかげで、いつも計算が遅いけど１時間半で4ページくらい出来たので良かったです。数学は元から苦手だったけど、これから頑張ろうと思いました。

●中学生になって初めてのわくわく数学教室で、とても集中出来たと思います。困っている時など、声をかけていただいたのでたくさん教科書など進めることが出来ました。この調子で勉強していって、実力テストなどで成果が出せるように頑張りたいなと思いました。今年は、1回しか出来なくて悲しかったけど、2年も3年もわくわく数学教室に参加できるといいなと思います。

●私が苦手だった文章問題もボランティアさんに教えてもらって解くことが出来ました。簡単な計算の仕方も教えてもらったので、これから活かしたいと思います。苦手な数学も得意になれるように頑張りたいです！ありがとうございました。

●ありきたりな感想で申し訳ないのですが、とても分かりやすかったです。私は他の人と違って、1のことを10等分しても分からないくらいだけど、理解出来ました。明日受けられないのが残念です。つい最近解いた愛知県模試に平方根の問題が出ていて、難しくて解けなかったのですが、もし今日以降に受けていれば解けた気がします。それくらいまで理解できたので、今日数学教室に来て本当に良かったです。ありがとうございました。

ＳＰ（学生）の感想

★ 本日、初めての参加だったため、90分間上手に進めることが出来るか不安でしたが、児童の方から今日やることを言ってくれたり、自分でドリルからやりたい問題を教えてくれたりしたおかげで無事に終わることが出来ました。反省点として、児童が集中して取り組んでいる時間に話しかけ過ぎてしまった点とコピーや丸つけをしている間に待機させてしまった点があります。あと2回参加予定があるため、活かしていきたいと思います。感染予防に関して、児童自らアルコール消毒をしてくれて、とても感心しました。児童の感想に「とても楽しかった」と書いてくれていたので、とても嬉しかったです。より楽しいと思ってもらえるように、赤ペンやコメントに工夫をしたり、褒めたりしていきたいと思います。

［名古屋学芸大学ヒューマンケア学部　3年］

★ スクールパートナーとして活動出来て、とても楽しかったです。子どもたちとより近い距離で、1対2などで教える機会がほとんどなかったので、とても良い経験になりました。午前中は、1年生を2人担当しましたが、2人とも集中して取り組んでくれて、1時間半があっという間でした。算数の勉強では、分からないところは指を使って示したり、一緒に数えてみたり、また、ドリルを選んだりと集中が続く方法を試行錯誤しながら行いましたが、待たせてしまったり、段取りが悪かったりする場面もありました。一方で、勉強以外でも、机の環境整備やコミュニケーションを取ることは意識出来たと思います。午後は自分の関わり方が上手くいかず、集中して取り組んでもらうことが出来ませんでしたが、試行錯誤して、少し要領は掴めたかなと思いました。夏休みの活動は今日1日しかありませんでしたが、すぐに児童に対応したり、分かりやすく伝えたりできるよう、今日のことを活かしていきたいと思います。ありがとうございました。 ［愛知教育大学教育学部　3年］

★ 面接の時に、「子どものやる気を引き出す指導をしたいです！」と言っていましたが、いざ目の前に子どもがいると難しいです。子どもが1時間算数に集中して取り組むことですら難しいので、より主体的に、より興味を持って勉強に取り組むことは本当に難しいことだと改めて思いました。半年後は、1人ではなく30人～40人の集中力や学びの保証をしていかなければなりません。あと半年で、ウィークリーSP の活動からもしっかり学んでいきたいです。 ［名城大学理工学部　4年］

★ 集中して勉強してくれたので、特に注意することなく取り組めました。子どもはやりたいところをやりたいだけ勉強していました。時間になっても「勉強をもっとやりたい」と言っていたのを聞いて、感動しました。ここの小学校の先生方は、素晴らしい教育をしているのだと思いました。尊敬します。 ［南山大学理工学部　2年］

★ 別々の問題を解いている子どもに教える時間を均等に使うことが出来なかった。計算問題を解いている子をやらせっぱなしにしてしまう場面があったので、次から時間を気にして教えたい。解き方が自分でわかっていても、教えるのは別の問題なのだと感じた。算数の内容を復習する時には、どうやって教えたら良いか、意識しながらしていきたい。
［中京大学スポーツ科学部　3年］

★何をしたら良いか決められなかったので、その時の子どもの様子に合わせて対応を変えるように意識しました。1人に教えている時に、もう1人を待たせてしまうことがよくあったので、待っている間に次の問題を解けるように準備しておくことなどが出来たら良かったと感じました。分からない問題を教えると、同じような他の問題も解けるようになってくれて、嬉しかったです。　［桜花学園大学保育学部　1年］

★ 今回の反省点は、子どもたちに問題を順序立てて解かせてあげることが出来ず、子どもたちの学習効率を上げることが出来なかったことです。普段は、子どもたちには簡単な問題から順番に復習をさせて、難しそうなところや不得意なところを克服できるように意識しているのですが、今回は私が問題を自作して、それを解かせてみようとしたところから、学習のペースが乱れてしまいました。やはり、まずはプリントでたくさん計算問題を解いてもらって、少しずつ応用的な文章題などの問題に取り組ませていく、従来の進め方の方が良いのかと思いました。また、これは今回のわく算での活動で一貫した課題ですが、子どもたちを楽しませながら勉強に取り組んでもらう力が自分は弱いと感じています。子どもたちを退屈させないような工夫を心がけていきたいです。

［愛知大学法学部　4年］

★ 今日は久しぶりに子どもたちと直接触れ合いながら学べた機会でした。担当した2人ともがわく算に参加するのは今年で3回目で、流れややり方をよく分かっていたため、スムーズに学習を進めることが出来ていました。その中で、一人一人に合わせた支援の大切さに気づき、それぞれが意欲的に自分の力を活かして学習に向かえるように工夫しました。集中する時や考え事（計算など）をする時は、窓の外や黒板を見る子、消しゴムを握って考えることが多い子など、それらの個性に対し、「集中していない」「他ごとをしている」などと決めつけないで、集中して考えられるように見守ったり様子を見て声をかけたりして支援を行いました。それぞれが自分の力で集中して学習に取り組めるよう、SP 側も支援の方法を工夫する大切さを学びました［金城学院大学人間科学部　4年］

★ 2回目ということもあり、落ち着いて対応することが出来ました。前回は1対2でドタバタしてしまいましたが、1対1だと思った以上にやりやすかったです。児童が苦手だと言っていた問題を一緒に考えた後、別の問題を解いてもらうと、スピードも正答数も大幅に上がっていて嬉しく思うと同時に、学習スピードの高さに驚きました。自分が小学生の時に解いていたものも、10年弱のブランクで忘れかけているものもあり、もっと復習しておくべきだったと反省しました。教える側にとって簡単な内容ほど、教え方が難しく、苦戦しました。最後の日まで日数があるので、自分自身復習もしっかりしていこうと思った。［日本福祉大学経済学部　1年］

★ 最初は、どの問題から取り組めば良いのか分からず、単純な計算問題から取り組むようにしました。意外と計算をするのが速く、驚きました。鉛筆の持ち方が少しおかしかったのですが、注意するべきか分からず、そのままにしてしまったので、今度から心がけてみようと思います。また、児童と一緒に何かを見ることで、より、やりやすくなり、児童も楽しく取り組んでいる様子が分かりました。他ごとをしている時に、強くではないですが、注意することでいけないことだと気づいてくれました。コミュニケーションを取ることで、児童がよく話してくれたり声をかけてくれたりして、とても嬉しく思いました。また、コミュニケーションの大切さや児童との接し方を工夫するなど、深い経験が出来ました。

［東海学園大学教育学部　3年］

★ わくわく算数教室に5回参加させていただいて、本当に多くのことを学ぶことが出来ました。子どもたちと関わる体験は初めてだったので不安もありましたが、参加してみると楽しかったです。どういう話し方だと興味をひいてくれるのか、分からない問題を説明する時にどうすれば伝わりやすいか、と考えて色々な声かけを試して、子どもの反応も見て良かったのか悪かったのか感じることが出来ました。学年ごとにどういうところに難しいと感じているのかも少し分かったので、今後小学生と関わる時にも活かしていきたいです。2桁の引き算の問題で、丸を書いてそれを一つずつ消して説明したのですが、それよりも10の塊で分けて考えた方が、考え方としては良いのではないかと思ったので、本当の先生ならどのように教えるのか気になりました。全体的に算数をどうやって子どもたちに教えているのか、現場の先生の姿を見て研究したいと思ったので、これからも SP に参加したいです。

［至学館大学健康科学部　3年］

★ 今日の午前に担当した2人は、今まで担当した子どもたちに比べて自分からよく話してくれて、非常にコミュニケーションが取りやすかったです。よく話す子、おとなしい子、どんな子に対してでも、何気ない会話ができるような力を、今回の活動のような実戦の中で身につけていきたいと強く感じました。5日間参加させていただいて、多くの子どもと触れ合うのと同時に、たくさんの先輩 SP さんの姿を見るという貴重な経験が出来ました。初めの1日は何をすればいいのだろう・・・・・・と周りを見てばかりでした。周りを見ると、先輩 SP さんたちが慣れた姿で子どもに接していて圧倒されましたが、日数を重ねて行くうちに「良いなと思うところは私も取り入れよう」と思い、少しずつ慣れていくことが出来ました。また時間を見つけて参加したいと思います。

［中部大学現代教育学部　1年］

★ 2人ともまだ習っていない2桁の足し算に取り組んでくれました。難しい問題に取り組み「わかった！」と言ってくれて、本当に嬉しかったです。最後に、急に今日が最後になってしまったので、「もっと早く来れば良かった」と言ってくれて、やって良かったなと思いました。これからも子どもたちの、「わかった！」という姿を見られるように、授業のやり方や間をとった話し方など勉強していきたいと思いました。

［愛知淑徳大学文学部　4年］

★ 本日は中学生の支援を行いました。小学生とは違い、なかなか分からないところを言えない姿が見られました。しかし、勉強は難しくなる一方なので、教壇に立った際には質問しやすいような環境を作っていくことがいかに大切かを感じることが出来ました。子どもたちの表情をよく見ながら、子どもたちを助けていきたいと思います。今後またボランティアをさせていただく際にも、積極的に声をかけて活動していきたいと思います。

［岐阜聖徳学園大学教育学部　4年］

★ 計7名の中学2年生を見ましたが、一人一人解いている問題のレベルが全く異なっていたため、どこでつまずき易いのか等が分かりにくく、理解してもらうのが大変でした。何より、発展問題になってくると自分も解けるか分からないという状況が一番の課題でした。文系だという逃げが通用しないことを痛感したため、どの科目においても最低でも基礎の知識を身につけておくべきだったと感じました。また、「中学生は自分からなかなか聞けない」という意味もよく分かったため、視野を広く持ち、学習の進み具合を見て、こちらからアクションを起こすことの大切さを学びました。今後は、中学生以上の生徒との関わり方を考えるとともに、各教科の基礎的知識を身につける必要もあるのだと学びました。

［愛知学院大学文学部　2年］

それぞれの感想を読んでみて学生の皆さんはどう思いましたか。子どもたちの感想を読んでいると、たくさんの「楽しかった」「また参加したい」という言葉がありました。中には、「一生の思い出」と書いている児童もいました。中学生の中にも、片葩小のわくわく算数教室のリピーターがたくさん参加していました。先日、庄子教育長が「わくわく算数教室に参加する子どもたちは、“夏休みに、お兄さん・お姉さん先生と楽しく算数を勉強したこと”が夏休みの思い出になっている。学力というと、テストなどの結果を思い浮かべがちだけれども、これも立派な“学力”だと思う。勉強が思い出って……すごいことだ」と話されていました。そういった意味で、ＳＰさんたちは確実に子どもたちの“学力”を上げてくれているのだと思います。改めて、すごい光景に立ち会えているなあ、と感動します。今年の夏も、ありがとうございました。また東浦町で会いましょう！！